



# 伊丹市の活用事例を発表！

令和6年（2024年）7月27日（土）に「第5回 iPad User's Salon in Kansai ~ NEXT GIGAに向けてiPadのクリエイティビティを解放しよう ~」で伊丹市・松本 唯指導主事が登壇しました。

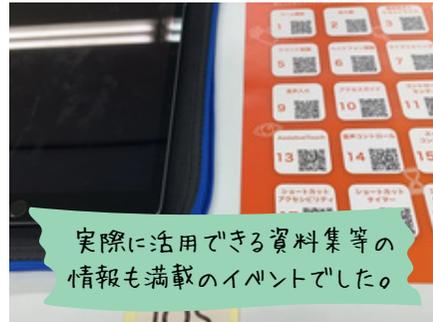
## 事例紹介

### 「伊丹市におけるiPad活用の成果と課題」



事例紹介では伊丹市の紹介や実際の授業での使い方等が取り上げられました。活用率の高さ、様々な取組を見て、改めて伊丹市の先生方の教育実践のすばらしさを感じました。

一方で、活用方法に差があったり、タブレットを使用している現状も課題としてあがりました。



実際に活用できる資料集等の情報も満載のイベントでした。



伊丹市教育委員会事務局 学校教育部  
総合教育センター 松本 唯 指導主事

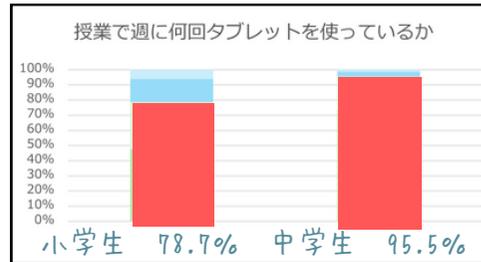
長浜市と東大阪市で取り組んでおられることを聞き、伊丹市には伊丹市の良さがあることを改めて感じ、また取り組むべき課題も見つかりました。  
今回の発表を通し、たくさんの方とつながることができました。今後もこのつながりを大切に、情報交換を通じて伊丹市の教育に生かせるようにしていきたいと思っております。

## 注目

### 活用状況に会場からも驚きの声

事例紹介の中で伊丹市における週3日以上タブレットを使用することに肯定的に答えた児童・生徒の割合を紹介したところ、会場から「多いな、すごい！」という声が聞こえてきました。伊丹の先生方の日々の頑張りが伝わった瞬間でした。

週3回以上使用していると回答した割合  
全体 84.0%



※小学生は低学年も含んでいるため、発達段階に応じた活用となります。



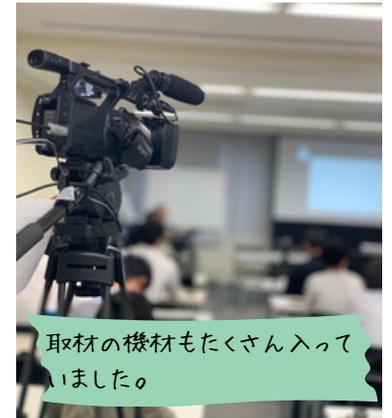
## これから

### 「iPadを机の上に出して」が聞こえない教室を目指して

タブレットを使ってみるから活用するへ、そして「効果的な」活用へ。これからは教師の指示でタブレットを使うだけではなく、いつ、どのように使うかも子どもたち自身が選択することがテーマになります。総合教育センターの夏季研修にもたくさんICTに関わる講座を設定しました。



東京から取材に来られており、取材用の写真も撮りました。



取材の機材もたくさん入っていました。